

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)			
事務事業名	自然保護対策経費	事業番号	121	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
☒ 自治 ☐ 法定受託				

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民、観光客を含む利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①希少鳥類の保護増殖事業(生息地における繁殖条件の改善及び生息環境整備、生息地における監視等) ②明治自然環境保全共同活動計画に基づく野鳥調査、自然観察会、植樹祭の開催等	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	①保護増殖計画に基づいた給餌、事故防止対策及び生息地における監視により、当市に生息する希少鳥類の自然状態での安定的な存続を図ることができる。 ②貴重な自然環境との共生を図るために、市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動を推進することにより、自然保護意識の高揚が図られ、自然資源の賢明な利用促進に繋がることを期待される。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R2)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	希少鳥類の保護増殖事業(衝突事故防止対策)への参加者数	5人	-	5人	新型コロナウイルス感染症対策により中止	9人	12人	-	15人
2	自然観察会(R3より実施)への参加者数	-	-	-		12人	20人	-	40人
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R6予算	
内訳	国道支出金			※再掲(事業費は4-2で計上)					
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)									
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）									
総事業費（＝事業費＋職員人件費）									
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）									
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	近年、自然保護に対する市民の意識も高まっていることから、市民ニーズは高いと考える。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	希少鳥類の生息数の増加や、自然保護事業を通じて市民の自然保護意識の高揚が図られ有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 希少鳥類の保護増殖や貴重な自然環境との共生を図るため、市が主体となり、関係機関と連携を図りながら実施すべきものである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業内容の中で見直しを行う必要はない。ただし、関係団体とより一層の連携を図り、事業の充実について検討することは可能と考える。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 毎年度、事業費については精査している。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 保護増殖計画に基づき、当市に生息する希少鳥類の自然状態での安定的な存続や貴重な自然環境との共生を図っているため、他の事業と統合できる可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 市が主体の事業であるため、受益者に負担をいただく可能性はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☒ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(商工振興担当)			
事務事業名	首都圏PR出展事業	事業番号	12813	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
☒ 自治 ☐ 法定受託				

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	関係団体、事業所、市民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室の新鮮で良質な水産物の普及宣伝・販路拡大などを行う団体である「ねむろ水産物普及推進協議会」と連携し、首都圏において不特定多数の消費者に対し、根室の自然・観光・歴史の魅力を紹介するアトラクションの実施及び地場産品の対面販売等を行うことで、根室市の知名度向上による交流人口の増大や、地場産品の消費拡大を図るとともに、根室地域の経済の活性化に寄与することを目的とする。	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	事業実施により、首都圏の不特定多数の消費者に対し、地域の歴史・自然観光資源や地場産品の良さなど、根室市の魅力をPRすることができ、根室地域の経済の活性化に寄与することが期待される。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R1)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	首都圏PR出展事業の開催回数(累計)	0回	-	0回	0回	1回	1回	1回	6回
2	首都圏PR出展事業の出展事業所数	0事業所	-	0事業所	0事業所	16事業所	15事業所	15事業所	20事業所
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				6,151		7,345		8,170	
内訳	国道支出金			3,000		3,100		3,500	
	地方債								
	その他			3,151		4,245		4,670	
	一般財源			0		0		0	
人員(人工)				0.17		0.17		0.17	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				1,267		1,267		1,267	
総事業費(=事業費+職員人件費)				7,418		8,612		9,437	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				7,418		8,612			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				494		574			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	令和5年度は日数を1日増やし3日間開催となったが、スポット広告等の利用やチラシ送付、積極的な声掛け等により、3日間で約17,300人ほどの来場者となった。今後一層の交流人口の増大や、地場産品の消費拡大を図る必要があるため、次回開催の際は、実施方法を含めた検討が必要。
今後の動向・市民ニーズなど	事業実施により、交流人口の増大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済の活性化に寄与することから、参加事業所を含めニーズは高い。

5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	事業実施により、交流人口の増大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済の活性化に寄与している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 首都圏の消費者に対し根室市のネームブランドを浸透させるためには、関係団体と連携しながら市が主体となって根室市の魅力PRすべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 実施計画に応じて、定期的に見直しをかける。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある ■一部ある □ない 実施規模の見直し等によりコスト削減は可能。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	□ある □一部ある ■ない 他に類似する事業もなく統合の可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(観光振興担当)			
事務事業名	観光事業振興経費	事業番号	134	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 広域連携の推進
	施策目標	自然・歴史・食などの多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客・根室市観光協会
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	所管施設の維持・管理、観光客受入体制の強化及び関連団体への補助金等交付 ・観光地トイレ維持管理、観光地用地借上、その他施設修繕ほか ・観光協会補助金、港まつり負担金、盆踊り負担金ほか	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により観光客の誘致に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	港まつり来場者数	20,700人	12,000人	中止	中止	1,500人	7,700人	21,000人	21,000人
2	かに祭り来場者数	15,800人	14,000人	中止	中止	中止	12,500人	16,000人	16,000人
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R5予算	
				38,085		37,730		38,815	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			6,587		6,577		5,736	
	一般財源			31,498		31,153		33,079	
人員(人工)				0.25		0.25		0.25	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				1,863		1,863		1,863	
総事業費(=事業費+職員人件費)				39,948		39,593		40,678	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				5		5			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				3		3			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	観光客等へのホスピタリティ向上を目的とした受入体制の強化が必要であり、利便性・快適性を図るため、受入環境整備を推進していく。
今後の動向・市民ニーズなど	市や観光協会が中心となって各種イベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施することにより、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られ、市民や観光関連事業者からのニーズは高く、今後も継続予定である。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光客の利便性や安全な衛生環境の提供(施設・設備の整備)、リピーターの確保(イベントの開催)など、観光客の誘致促進につながるものを本事業で継続して実施していることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 観光協会の現状体制を踏まえれば、事業全体の取り組みは不可能と思われるが、一部は可能であり、既に実施している。(根室半島周遊バス運行事業等)
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟に対応でき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究していく必要がある。また、各観光イベントの内容においても、随時、改善していく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 既に事業費を工夫してコストを削減しており、また、市内の経済状況の先行きが不透明であり、寄附金についても顕著な落ち込みが見られ、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況であるが、引き続きアイデアを模索する。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業の基本施策に内容などについては、類似している事業があるが、事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 事業の性格上、受益者負担は困難であり、可能性は低い。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(観光振興担当)			
事務事業名	観光事業振興経費	事業番号	10180	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客・根室市観光協会・さんま祭り協賛会ほか
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	観光PRの推進、イベント開催による観光客及び教育旅行の誘致推進 ・観光地設備等修繕、観光PR用務ほか ・さんま祭り負担金、教育旅行協議会負担金、ニムオロ冬の祭典負担金ほか	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により、観光客の誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	観光イベント回数	6回	6回	2回	2回	2回	5回	6回	6回
2	根室半島周遊バス運行事業補助	1,950千円	1,570千円	1,660千円	1,900千円	1,740千円	5,000千円	1,950千円	1,950千円
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				38,091		40,879		49,791	
内訳	国道支出金			5,000		4,900		5,000	
	地方債								
	その他			13,700		13,700		17,000	
	一般財源			19,391		22,279		27,791	
人員(人工)				0.25		0.25		0.25	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				1,863		1,863		1,863	
総事業費(=事業費+職員人件費)				39,954		42,742		51,654	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				7,990		8,548			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				-		-			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	観光客へのホスピタリティ向上を目的とした受入体制の強化が必要であり、利便性・快適性を図るため、受入環境整備を推進していく。また、観光客は市町村単位ではなく、自治体をまたいでより広域に観光を考えることから、釧路根室地区全域に視点をあてた中での広域連携に努め、新しい観光コンテンツや周遊観光ルート造成に努め、根室の観光の在り方を模索している。
今後の動向・市民ニーズなど	市や観光協会が中心となって各種イベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施することにより、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られることから、市民や観光関連事業者からのニーズは高く、今後も継続予定である。また、地域の魅力である観光資源を広域的にネットワーク化する広域連携による観光振興が求められている。観光客の宿泊や見学などの選択肢が増え、満足度の向上や滞在時間の延長に繋がるため、広域連携の推進を図ることが必要とされている。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光客のニーズに適切に対応しており、誘致促進につながる事業であることから、有効に結びついている。また、ひがし北海道エコモビリティ推進協議会において、JRやバスなど公共交通機関と自転車を組み合わせたモニターツアーが道東を舞台に実施されたほか、ひがし北海道観光キャンペーン協議会では冬の道東の魅力を台湾客らにPRするための冊子が作成されるなど、地域間連携が図られている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 観光協会の現状体制を踏まえれば、事業全体の取り組みは不可能と思われるが、一部は可能であり、既に実施している(根室半島周遊バス運行事業等)。また、広域連携を考える上では行政のみならず、地域の観光協会やDMOなど、幅広い観光関連業界との連携が必要であるが、各市町村の観光施策の最上位計画である「観光振興計画」に基づき、各種施策が関連団体と実施されることから、市が積極的に取り組む必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟に対応でき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究し、改善していく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 既に事業内容を工夫して、コストを削減しており、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況である。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業の基本施策の内容などについて、類似事業はあるが、事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 既に受益者に負担をいただいております、その負担額についても、市況を見極めたなかで設定している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(観光振興担当)			
事務事業名	バードウォッチング観光推進事業	事業番号	12272	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 広域連携の推進
	施策目標	自然・歴史・食などの多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客、ねむろバードランドフェスティバル実行委員会
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	野鳥観察環境の一層の整備・充実を図り、国内外の野鳥愛好家の誘客や新たな観光客の掘り起こしを推進するもの。 ・ねむろバードランドフェスティバル負担金、野鳥観察舎維持管理ほか	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により、観光客の誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	ねむろバードランドフェスティバル来場者数	600人	900人	500人	300人	900人	900人	1,000人	1,000人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				9,846		7,690		10,546	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他				9,846		7,690		10,546
	一般財源				0		0		0
人員(人工)					0.25		0.25		0.25
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)					1,863		1,863		1,863
総事業費(=事業費+職員人件費)					11,709		9,553		12,409
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					13		10		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					—		—		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	野鳥観光の振興を目的に受入体制の強化を図り、利便性や快適性についても考慮しており、こうした点を踏まえ、施設の整備を今後も実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	観光協会が中心となってイベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施し、交流人口の増加による地域経済の活性化を図り、市民や観光関連事業者との共同のもと事業を継続する予定である。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	バードウォッチャーのニーズに対応しており、観光客誘致に繋がる事業であることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☒ 可能 ☐ 一部可能 ☐ 不可能 財源の確保ができれば他団体等での実施も可能。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟にでき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究し、改善していく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 既に事業内容を工夫してコスト削減しており、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況である。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 他の事業とは事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 各種ツアーの参加者から参加料の負担をいただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(観光振興担当)			
事務事業名	観光情報発信推進事業	事業番号	12814	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 広域連携の推進
	施策目標	自然・歴史・食などの多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客
	対象者の今後の予想	増加が見込まれる
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	現在、根室市の持つ観光素材をPRする媒体が10年以上前に作成した映像のみであり、現状の根室市の観光素材を十分にPRできるものとなっておらず、多言語対応にもなっていない。国内外からの新たな観光客の誘致を図り、交流人口を拡大させるために、総合的な多言語対応のプロモーション動画を作成し、国内外へ情報発信する。また、観光公式WEBサイトを制作し、動画を発信する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	国内外へ積極的に観光情報を発信し、観光客誘致を図ることにより地域経済の活性化に繋げたい。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	観光プロモーション動画の作成数	0件	-	0件	0件	1件	0件	1件	1件
2	公式WEBサイトの整備	0件	-	-	-	-	1件	-	1件
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R5予算	
				13,915		13,915		13,915	
内 訳	国道支出金			5,000		5,000		5,000	
	地方債								
	その他			8,915		8,915		8,915	
	一般財源			0		0		0	
人員(人工)				0.25		0.25		0.25	
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）				1,863		1,863		1,863	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				15,778		15,778		15,778	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）				-		-			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）				15,778		15,778			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	コロナの感染状況等を鑑みた結果、令和4年度に予算化し、根室市観光プロモーション動画作成業務として委託したところ。コロナ禍の影響を受け、予算年度がずれ込んだものの、令和5年度については、成果物であるプロモーション動画を情報発信し、根室市の認知度向上や交流人口の拡大、関係人口の創出を図っていくものとする。
今後の動向・市民ニーズなど	アフターコロナーを見据えた中で、当市の認知度向上や交流人口の拡大、関係人口の創出を図り、国内外からの観光客の増加を図ることが必要。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	国内外からの新たな観光客の誘致を図り、交流人口を拡大させるため、総合的な多言語対応のプロモーション動画を作成することができた。令和5年度については、その成果物であるプロモーション動画を国内外に発信し、認知度向上や交流人口の拡大等に繋げていく。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 根室市のプロモーション動画であるため、市が実施すべき。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない プロモーション動画の作成意図やターゲット及び情報発信の内容が整理されているため、その趣旨に沿って事業を進めていく。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 現時点ではない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続（ ☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替） ☐ 終期設定あり（R 年度末終了予定） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(観光振興担当)			
事務事業名	観光客受入環境整備事業	事業番号	12815	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 広域連携の推進
	施策目標	自然・歴史・食などの多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客
	対象者の今後の予想	増加が見込まれる
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	近年、外国人観光客等を含む観光客が増加しており、市内観光地の受入環境の整備を進めることにより、リピーター確保に繋げたい。 ・納沙布岬トイレの洋式化等整備工事 ・飲食店等における多言語メニュー表の設置補助	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	観光地トイレやインバウンドの受入環境整備を整備することで、観光客のリピーター確保に繋がり、交流人口が拡大され観光消費による地域経済の活性化に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	多言語メニュー導入店舗数	0件	-	0件	0件	0件	16件	10件	20件
2	納沙布岬トイレ改修進捗率	0%	-	50%	100%	100%	100%	50%	100%
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				1,861		1,008		2,933	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			1,200		729		2,933	
	一般財源			661		279		0	
人員(人工)				0.25		0.25		0.25	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				1,863		1,863		1,863	
総事業費(=事業費+職員人件費)				3,724		2,871		4,796	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				232		179			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				3,724		2,871			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	多言語表示メニューの設置補助については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現状では事業実施できる状況になかったため、インバウンドの回復状況を見据えて実施するものとしていたが、コロナ明けのインバウンド需要増加を見据え、令和5年度より実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	新型コロナウイルスワクチン接種が始まるなど、今後、国内外からの観光客が増加することが予想され、インバウンドの受入環境を整備を図り、リピータ確保に繋げることが必要である。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光地トイレの整備については旅行をする上で重要なコンテンツであり、トイレの印象が観光地及び旅行の印象を決めるものと考えており、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 市の施設であるため不可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 多言語表示メニューの設置補助の周知時期。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 多言語メニュー等導入については、1事業所あたりの上限額を設けており、その額を超えた場合は、受益者に負担していただくこととなる(令和5年度より実施したが、現時点で、既に受益者負担がある設計とした)。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月